

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとりまします。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです。あなたも一緒に

◆8月の発行は、8日号、22日号、29日号です。

- 2面 声明/女性ニュース ■3面 読者のページ/まんが/乱楽 ■4・5面 新介護署名スタート/女性 働く/特別国会での各政党の態度/ホットライン ■6面 自然とあそぼう!/文化情報/母の歴史 ■7面 新婦人の活動/主張/学校とジェンダーの現在地

今週の紙面



広島市 若山恵子 (73)

公共性と食の安全投げ捨てる

食肉市場廃止は撤回を

昨秋、さいたま市は市設置の「食肉中央卸売市場・と畜場」の移転計画を中止し、廃止する方針を突然発表しました。畜産農家や学校給食など関連業者に衝撃が走り、不安や怒りの声があがっています。市場現地取材し、その影響を考えました。

突然の方針変更

「食肉」は、畜産の現場から、食肉処理場(と畜場)、卸売市場や自家用と畜業者などを経て、スーパーや精肉店に並び、消費者に届きます。市場での取引は枝肉(骨付きの肉)の状態で行わ

れるため、食肉市場には一般的に、牛や豚をと畜場が併設されています。さいたま市の食肉中央卸売市場・と畜場は昨年度、牛・豚合わせて6万7000頭を扱っています。牛・豚は埼玉県内の建設を計画。28年度の開

みならず、北海道、東北、栃木や群馬などの関東から出荷され、セリ売りされています。施設の老朽化と耐震性不足で建て替えが必要となったものの、現在地での建て替えは困難で、市は2021年に「移転再整備計画」を発表しました。市長は当初「大変重要な施設で廃止は困難」と、食肉市場・と畜場と道の駅を一体化した複合施設「ミートランド」の建設を計画。28年度の開

場を目指し、流通上都合のよい高速道路IC近くの用地確保もめどがついていました。ところが昨年11月、市は突然、食肉市場・と畜場の「28年度廃止」を発表。建築資材の高騰や市内の畜産農家の少なさを理由にあげています。また「食肉流通において市場を経由して消費者に届く市場経由率は全国で約8・1%であり、農家と

公設公営の食肉中央卸売市場は全国に10カ所あり(※)、いずれも大消費地に置かれ、地域住民への畜産物の安定供給を支えています。日本の食肉流通で、輸入も含めた市場経由率は8・1%ですが、国産の牛は約5割、豚は約2割出荷されています。食肉市場は、消費者に安定した価格で食肉が提供される大事なシステムとなっています。公設市場では、需要と供給、品質などをとに、セリで価格が決定されます。特に関東のさいたま市場と東京市場、横浜市場では、毎日格付けごとの取引価格を公表。3市場の平均価格は、JAや民間企業と農家の直接(相対)取引における基準と



「お肉大好き!」(本文とは関係ありません)



▲牛の枝肉(東京食肉市場提供)
◀さいたま市場入り口

企業との直接取引が増え、行政の役割が薄れている」と説明しています。公設だからこそ

して、全国で参照されています。ブランド肉が集中する東京市場や横浜市場に加え、さいたま市場があることで、価格の安定化がはかられ、価格の透明性も担保されているのです。と畜場では、「と畜検査員(獣医師)」が1頭1頭、疾病検査を行い、食肉の安全を確保しています。病気や抗生物質等の残留性があれば、市場に流れることのない仕組みになっています。

※公設の食肉市場は仙台、さいたま、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、福岡の10カ所

多方面に影響が

さいたま市場が閉鎖されると、その影響ははかりれません。現在埼玉県内にはと畜

熊本地震 支援急げ!

(2面へ)



爆発で外壁などが大きく崩れたイオンモール熊本=7月28日午後6時38分、熊本県嘉島町(共同通信社ヘリから)

8月15日号は休刊です

